

## 生ごみを資源として活用

### 「堆肥化工場」エルデガーデン見学

瑞穂町にある、食物資源(生ごみ)で堆肥を作っている工場、エルデガーデンを見学してきました。小平市の食物資源循環モデル事業で行われている拠点回収された生ごみは、ここで堆肥にしています。



畑の横に積まれた堆肥素材。触るとサラサラで匂いも気にならない。

工場内は臭いはあまりなく、おがくずのような木の香りが強いように感じました。

運び込まれた生ごみは機械の中で20日間かけて発酵させ、剪定枝で作ったチップと混ぜ、2週間ほど寝かせて堆肥を作ります。

主に出荷しているのは作物に合わせ

て工夫ができるように未成熟の堆肥で、堆肥素材として販売しています。

この堆肥素材を畑や花壇のすみに山にして置き熟成させていると、なかでカブトムシがたくさん育つそうです。以前合板で作ったチップを使った堆肥素材を置いておいたところ、カブトムシが極端に少なかったところ、お話も聞き

ました。接着剤などの化学物質が含まれているからだろうとのことでした。素材にこだわり、発酵させて寝かせて熟成する工程に「パンやお酒造りみたいですね」と言うと「どちらかと言うと酒造りに似ています」とのお答えがあり、とても印象的でした。

今、小平市では生ごみからできた堆肥素材をモデル事業の参加者やイベントで配布しています。市内の数件の園芸農家でも使っているようですが、立川や所沢、横浜などでは野菜やお茶の栽培にも使われているとのこと。小平の野菜作りにもぜひ使っていただきたいと思います。

### 小平・生活者ネットワーク

政策委員長 佐藤悦子

## ひとこと提案を募集します

生活者ネットワークでは、毎年市民のみなさんから市政に対してのご提案や疑問を「ひとこと提案」として募集しています。みなさんからいただいたご提案については、必要に応じて現地に出向いて調査したり、担当部署へのヒアリングを行ったりして、すぐに改善できることは行政に働きかけています。さらに予算を伴うもの、制度やしきみを変える必要があることは市への予算要望、政策提案、議会での一般質問などにつなげています。市民のみなさんからの「ひとこと」が、制度やしきみを変えるきっかけになります。「ひとこと提案」を通して課題の解決の道筋を一緒に考えていきましょう。

\* ご提案は、メール・fax等でお寄せください。

FAX 042-342-4494

E-mail kodaira@seikatsusha.net

### ひとこと提案で実現したこと

- ・女性や子どもの視点での災害時対策
- ・市民共同発電所への市の支援
- ・医療・介護連携相談窓口の本格実施
- ・子どものための放射能対策
- ・待機児解消のための子育て支援
- ・市民の意見を取り入れた公園づくり
- ・学校の万年塀の生垣化



提案されたことを確かめに市内を自転車で移動しながら見て回っています。

**編集後記** ニュース 120 号をお届けします。桜前線は北上していますが、福島では住民が住めなくなったたくさんの桜名所で、桜は寂しく花を咲かせているのでしょうか。(s)

### 生活者ネットワーク3つのルール

- 議員は交代制(ローテーション)
- 議員報酬は市民の政治活動資金
- 選挙はカンパとボランティアで

### 小平・生活者ネットワーク

発行責任者/打木香澄  
〒187-0045 小平市学園西町2-15-2 CB 一橋学園  
TEL&FAX 042-342-4494  
E-mail kodaira@seikatsusha.net  
http://kodaira.seikatsusha.me/

\*\*\*インフォメーション\*\*\*

## 小平のこと言いたい、聞きたい 議員といっしょに話す会 テーマ:防災について

2014年5月28日(水) 10:00~12:00

小川西町公民館 学習室3

小平市議員

岩本ひろ子、日向みさ子、平野ひろみ

\*どなたでもご参加できます。直接会場にいらしてください。

